



貴院カルテNo.		診断医師 1	
フリガナ		診断医師 2	
氏名		診断医師 3	
生年月日		紹介医療機関	
検査日		診療科	
報告書確定日		ご担当医	
撮影			

右 l l l b 左 l l l a 精査

所見

右側顎関節：

関節円板は閉口時に前方に転位しており（1）、開口時に復位しています（2）。

関節円板は軽度外側に転位しています（3）。

関節円板の形態は、even thicknessに近い形態を示しています（2）。

下顎頭は閉口時に下顎窩内の中央にあり、開口時に関節隆起の直下まで移動しています。

下関節腔内に少量のjoint fluidの所見（4）を認めます。

下顎頭に明らかな骨変化や骨髄変化の所見を認めません。

左側顎関節：

関節円板は閉口時に前方に転位しておりfoldingの状態を示しており（5）、開口時に復位していません（6）。

関節円板は外側に転位しています（7）。

関節円板の形態は、enlargement of posterior bandに近い形態を示しています（6）。

下顎頭は閉口時に下顎窩内の中央にあり、開口時に関節隆起の直下まで移動しています。

上関節腔内にjoint effusionの所見（8）を認めます。

下顎頭に明らかな骨変化や骨髄変化の所見を認めません。

診断

右側顎関節：

顎関節内障（復位性関節円板前外方転位）

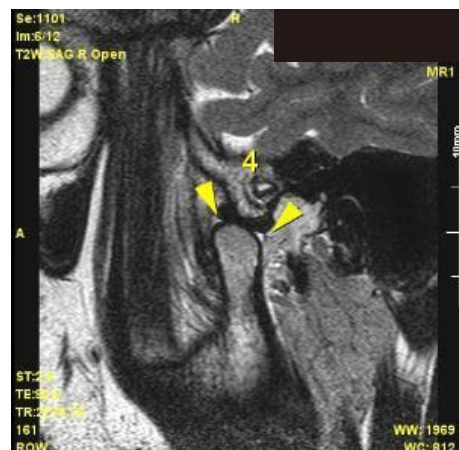
左側顎関節：

顎関節内障（非復位性関節円板前外方転位）



ID

検査No.



今後の指針コメント



ID

検査No.